

平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	内外教育事情等調査		担当部局	生涯学習政策局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成13年度～		担当課室	調査企画課		調査企画課長 西澤 立志		
会計区分	一般会計		施策名	I-1 教育改革に関する基本的な政策の推進等				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	公的統計の整備に関する基本的な計画 (平成21年3月13日)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	社会の変化に伴う社会的・政策的ニーズに的確に対応できるよう統計調査の見直し、調査データの分析及び二次の利用等を推進するために必要な検討を行う。 また、我が国の教育施策に資する諸外国の教育制度・事情に関する実地調査の実施等を行い基礎資料の整備を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	統計分析アドバイザーによる指導・助言を基に国内統計調査の分析及び集計方法等の見直しを行う。 また、公的統計の整備に関する基本的な計画を踏まえた統計調査の体系的整備等、新しい時代に対応した統計調査を推進するため、外部有識者による検討会を設け、必要な検討を行う。 教育施策立案のための外国教育事情調査については、実地調査、文献調査、外国調査アドバイザーによる指導・助言等を通じて、諸外国の教育制度・事情に関する情報を収集・整理・分析し、国際的な比較を可能とすること等によって、教育施策立案のための基礎資料等を整備する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	9	10	8	7	8	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	9	10	8	7	8	
	執行額	6	6	8				
執行率 (%)	66.7%	60.0%	95.2%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)	
	教育統計調査ホームページアクセス件数 ※平成23年度は、震災の影響により平成23年9月から平成24年3月までの数値となっている		成果実績	件	764,969	729,594	※369,769	700,000
			達成度	%	109.3%	104.2%	※52.8%	
	調査票情報の二次的利用及び提供の件数		成果実績	件	225	263	315	250
		達成度	%	90	105.2	126%		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	諸外国の教育政策・教育事情に関する資料の公表件数		活動実績 (当初見込み)	件	-	15	14	-
				-	(14)	(14)	(9)	
単位当たりコスト	222,077(1,332,460円/6)		算出根拠	(国内統計調査分析経費(庁費除く)/(検討対象統計調査数)				
	509,370(2,546,850円/5)			(平成23年度海外教育事情等調査執行額(庁費除く)/(調査対象国数)				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.8百万円	0.9百万円					
	職員旅費	2.9百万円	2.9百万円					
	委員等旅費	0.4百万円	1.0百万円					
	庁費	3.3百万円	3.2百万円					
	計	7.4百万円	8.0百万円					

事業所管部局による点検				
	評価	項目	評価に関する説明	
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	当事業は、エビデンスに基づく国の教育諸施策を検討・立案していくうえで必要な事業であり、国が総合的に推進していく必要がある。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。		
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。		
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先の選定は、一般競争入札により行っており、選定の妥当性や競争性を確保するとともに単位当たりのコスト削減に努めている。 また、契約時において、費目・使途の内容を厳正に精査しており、支出の合理性・必要性について適切にチェックしているところ。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。		
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	当事業は、「公的統計の整備に関する基本的な計画」に基づき、教育統計調査ホームページアクセス件数や調査情報の二次的利用および提供の件数といった定量的な成果目標を立てた上で実施しており、着実な進捗に努めている。さらに、事業で得られた成果物は、教育関係機関を始め広く一般にも活用できるよう、ホームページに掲載するなどの活用を図っている。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。		
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。		
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名		—
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	<p>本事業は、「公的統計の整備に関する基本的な計画」に基づき、公的統計の基本計画と文部科学省の統計調査の体系的整備や統計データの二次的利用の促進を図ること、統計情報分析アドバイザーによる指導・助言をもとに国内の統計調査の調査方法等について見直しを行うこと、また、諸外国の教育事情について恒常的及びトピック的なテーマに応えることができるよう、教育施策に対応した実地調査を行い、先進主要国を対象とした基礎資料について整備を図ることを主な目的としている。今後も引き続き、事業の重要性や長期継続事業の観点から、必要経費について更なる精査を図り、事業の効果的・効率的な実施を目指す必要がある。</p>			
予算監視・効率化チームの所見				
一部改善	<p>1. 事業評価の観点：本事業は、統計分析アドバイザーによる指導・助言を基に国内統計調査の分析及び集計方法等を見直し、また、諸外国の教育制度・事情に関する実地調査を行うこと等により、教育施策に関する基礎資料の整備を図ることを目的とした事業であり、長期継続事業及び予算執行状況の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見：平成13年度以降長期に継続している調査であるが、社会的・政策的ニーズに的確に対応できるよう統計調査の見直しや、諸外国の教育制度・事情など、教育施策立案のための基礎資料等を整備することは必要である。なお、当該事業は概ね計画通りに予算執行されたものと考えられるが、更なる事業の効率化を目指し、積算単価を再検証するなど、引き続きコスト削減に努めるべきである。</p>			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)				
縮減	<p>当該事業については、社会の変化に伴う社会的・政策的ニーズに的確に対応できるよう統計調査の見直し、調査データの分析及び二次的利用等を推進するために必要な検討を行ってきた。また、我が国の教育施策に資する諸外国の教育制度・事情に関する実地調査の実施等を行い基礎資料の整備を図ってきたところである。25年度については、諸謝金及び雑役務費等の積算の見直しをし、概算要求に▲0.347百万円反映した。</p>			
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）				
<p>新しい時代に対応した統計調査の推進に関する検討会 (http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shougai/020/index.htm)</p>				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成22年行政事業レビュー	0005	平成23年行政事業レビュー	0041	

※平成23年度実績を記入

文部科学省
<8.1百万円>

諸謝金等 0.5百万円
外国旅費等 3.5万円
庁費 4.1百万円

※庁費は冊子等の購入等であり、1件百万円以上の支出はない。

統計分析アドバイザーによる指導・助言を基に国内統計調査の分析及び集計方法等の見直しを行う。
また、公的統計の整備に関する基本的な計画を踏まえた統計調査の体系的整備等、新しい時代に対応した統計調査を推進するため、外部有識者による検討会を設け、必要な検討を行う。
教育施策立案のための外国教育事情調査については、実地調査、文献調査、外国調査アドバイザーによる指導・助言等を通じて、諸外国の教育制度・事情に関する情報を収集・整理・分析し、国際的な比較を可能とすること等によって、教育施策立案のための基礎資料等を整備する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	該当なし				
計		0.0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	該当なし				
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					